

# 県内復興・経済日誌 (2020年5月)

1日

## 《福島イノベ構想、「医療関連」「航空宇宙」を追加》

政府は、福島復興再生特別措置法に基づき福島・国際研究産業都市（イノベーション・コースト）構想を進める重点推進計画の変更を認定した。「廃炉」「ロボット・ドローン」「エネルギー・環境・リサイクル」「農林水産」の既存の4つの重点分野に、新たに「医療関連」「航空宇宙」の両分野を加え、本県産業の活性化を一層加速させる。計画期間は現行より5年延長し、2025年度末までと改めた。

7日

## 《4月の企業倒産9件》

東京商工リサーチ郡山支店が発表した4月の県内企業倒産状況（負債額1,000万円以上）によると、倒産件数は9件（前年同月比6件増）、負債総額12億8,200万円（同11億8,100万円増）だった。2011年東日本大震災以降の4月単月では、同年4月の12件に次いで多い件数だった。新型コロナウイルスの感染拡大に関連した倒産は2件あり事業への影響の深刻さがうかがえる。

8日

## 《4月の新車登録台数26.4%減》

福島運輸支局が発表した4月の県内新車登録・届け出台数によると、軽自動車や二輪車を含む総数は4,820台で前年同期比26.4%減だった。同支局は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響による消費の落ち込みや、自動車メーカーの生産停滞などが背景にあると分析している。

15日

## 《緊急事態措置解除》

新型コロナウイルス特措法に基づく緊急事態宣言が本県など39県で解除されたのを受け、内堀知事は、不要不急の県外移動の自粛要請や施設への休業要請などの緊急事態措置を解除した。

18日

## 《4月の県内宿泊者数、前年比8割減》

県旅館ホテル生活衛生同業組合が発表した県内の加盟施設を対象とした調査によると、4月の宿泊者数は計58,996人泊で、前年同月比23.4%にとどまった。宿泊者数減少による損失額は、

約55億6,000万円と推計している。

19日

## 《4月の福島空港利用9割減》

4月の福島空港搭乗者数は2,800人（前年同月比88.8%減）で、1993年3月の開港以来、月別で最低となったことが県のまとめで分かった。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う需要減少で国内定期便に運休が相次いだほか、国内線、国際線ともにチャーター便の運航本数がゼロとなり、利用が大幅に落ち込んだ。

20日

## 《4月の売上高、約7割の県内企業が前年割れ》

東京商工リサーチ郡山支店が発表した「新型コロナウイルスに関するアンケート」（4月23日～5月12日）によると、県内企業340社の66.5%が「既に影響が出ている」と答え、前回調査（3月27日～4月5日）から14.3%増えた。4月の売上高については約7割が前年割れしたと回答し、感染拡大の影響が深刻化している現状が改めて浮き彫りとなった。

22日

## 《全国新酒鑑評会、県産酒33銘柄入賞》

酒類総合研究所（広島県）が2019酒造年度（2019年7月～2020年6月）の全国新酒鑑評会の結果を発表した。本県は33銘柄が入賞し、入賞数は新潟県（39銘柄）に次ぎ、長野県とともに二番目に多かった。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で最終審査の決審が中止となり、金賞は選定されなかった。

26日

## 《中合福島店、8月末閉店》

中合（福島市）が、中合福島店を8月31日で閉店すると発表した。JR福島駅東口の再開発計画に伴う建物の賃貸借契約満了が閉店の主な理由で、営業終了後は会社を清算し、創業146年の歴史に幕を下ろす。

「主要経済指標」は、弊所ホームページに掲載しております。

掲載箇所：<http://fkeizai.in.arena.ne.jp/kikanshi/shihyou>

